

小林永濯 こばやし えいじやく 浮世繪師。天保十四年江戸生れ、明治二十二年五月
二十七日歿（八四三一九）。謹徳宜、通稱秀次郎。別號霞堂、鮮齋、も
が林永濯とも署す。年少狩野永恵に學ぶ。のち一家を成し、彦根藩に
仕へると、藩主井伊直弼遭難後、辭して日本橋に住住。歴史人物畫の
長じ、雜誌「都の花」、「風俗畫報」等、に執筆。畫名内外に聞え、ナ
エノロサ等しばく屢々外國人の依頼を受け、揮毫した。

著書「永濯漫畫・初編」(鮮齋永濯名、明治十八年四月松崎半造刊)
等。